

# ゆうあい報 おだぴたる

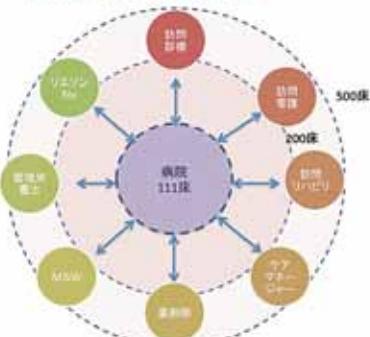


特定医療法人  
**祐愛会織田病院** ODA REGIONAL MEDICAL CENTER

発行者 祐愛会織田病院企画室  
責任者 織田 正道 <院内報>

医療のあるべき姿は、当然、時代の流れと共に変化しています。当院が救急医療を始めた30年前、当時の人口は増加傾向にあり、医療の対象は圧倒的に若い年齢層でした。しかし、少子高齢化が進展し超高齢社会となつた今、患者層も大きく変わり、救急搬送患者においても後期高齢者が急増する時代になってきました。この年齢層は、入院前からADL低下や認知症有病率が高く、まさに国が言うように「治す医療」から「治し支える医療」への転換を急ぐ必要があります。これまで我々は、短期入院急性期医療を進めると共に、他の医療機関や介護サービスと連携し、安心して患者さんが在宅に帰られるように地域での受け皿作りを進めてきました。ただし、ポスト2025年にはさらに高齢化は進みます。今後も、在宅医療を定着させていくために、安心した暮らしができる地域包括ケアシステムの構築(以下、システム構築)が必要です。理想は「Aging in Place」ですが、このシステム構築には、まず自助、互助が主体となりますので、地域住民を巻き込んでの取り組みにも力を入れて行かなくてはなりません。なお、ここで言う自助とは、自らの健康管理や自分のことは可能な限り自分であること、互助とは住民組織の活動やボランティア活動を指します。2025年まで残された時間は少なくなっています。今まで以上に行政や各種団体に働き掛け、地域全体が一体となり取り組まなくてはなりません。

## (国)地域のメディカル・ベースキャンプとなり、多職種が病院から地域に



**新たな地域のブランド病院を目指して**

これまで、地域においてのブランド病院と言えば、高度急性期を担う官公立病院でした。しかし、医療のあり方が大きく変わった今の時代にあって、高度急性期は、医療機能の一時期でしかありません。そこに民間病院であっても、官公立病院を区域病棟があるのです。

「いつまでも元気で活躍できるエイジング社会を築くため、生活習慣病の予防・改善に、継続的に取り組みます。」

○**保健・予防分野**

「いつまでも元気で活躍できるエイジングして行く時代に入ります。この延長線上に、これまで述べてきた医療依存度が高い患者であっても、ICUを使い在宅で見守ることができる地域病棟があるのです。

○**医療分野**

「急性期病院として効率的で質の高い医療を目指すと共に、退院後もケアを継続するために地域の医療機関や介護サービスと協力して在宅医療を全面的にパックアップします。」

1. 地域に選ばれる病院づくり
2. 救急患者受入れ体制のさらなる充実
3. 在宅見守りシステム構築等
4. 業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮、年次有給休暇取得を推進
5. ワークライフバランス(多様な勤務形態)の更なる推進
6. 人事制度の刷新(考課者のマネジメント教育徹底)を図る
7. グローバルナースの教育・育成
8. 海外研修の充実
9. Pali-Momi Medical Center(ハワイ)研修プログラムの充実
10. 介護分野における在宅復

●紹介患者月平均320名を目指す(マーケットの拡大)

●DCU(Dementia Care Unit)の充実

●多職種によるフラット型チーム医療を更に推進

●地域(在宅)病棟実現に向けて、他業種との共同研究を進める

●医療と介護情報の一元化・共有化を図る

●地域の質向上を目指して

●TQM(Total Quality Management)推進

●認知症への理解を深める

●スタッフに選ばれる職場づくり

●業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮、年次有給休暇取得を推進

●ワーカーライフバランス(多様な勤務形態)の更なる推進

●人事制度の刷新(考課者のマネジメント教育徹底)を図る

●グローバルナースの教育・育成

●セイフティーマネジメント(医療安全・院内感染防止)の更なる向上

●海外研修の充実

●地域包括ケアシステムの構築

●介護老人保健施設における在宅復

## ポスト2025年に向けた新たなブランド病院づくり 地域のメディカル・ベースキャンプとなる病院を目指す

特定医療法人祐愛会 理事長 織田 正道

地域のメディカル・ベースキャンプとなる病院づくり

乗り越えるチャンスが眠っています。特に今年は、医療介護総合推進法による施策がスタートし、医療環境が大きく変わるもので、我々は「予防・医療・介護の複合体」である強みを生かし、地域における新たなブランドづくりにチャレンジしていきます。それでは2015年のグループ方針を示します。

## ◎2015年グループ方針

Aging in place 「住み慣れた地域で自分はなく多職種が地域に出て行く体制」つまり、医療センター方式から、地域のメディカル・ベースキャンプ方式への転換を急がなくてはなりません(図)。まさに施設依存的発想から在宅医療へソフトランディングして行く時代になります。

○**保健・予防分野**

「いつまでも元気で活躍できるエイジング社会を築くため、生活習慣病の予防・改善に、継続的に取り組みます。」

1. 人間ドック、専門ドック(脳ドック・乳腺ドック・肺ドック)、2次検診へ積極的に取り組み受診者の2割アップを図る

2. 行政と協力して特定健診・特定保健指導の受診率アップに努める

3. ヘルスアップ事業(ウォーキング教室)の参加者を増やし継続を図る

4. 糖尿病はじめとする生活習慣病市民公開講座を、ゆうあい公開セミナーとタイアップし、恒例化(隔月)する

5. 介護分野と連携し、介護予防にも積極的に参加する

●**医療分野**

「急性期病院として効率的で質の高い医療を目指すと共に、退院後もケアを継続するために地域の医療機関や介護サービスと協力して在宅医療を全面的にパックアップします。」

1. 地域に選ばれる病院づくり

2. 救急患者受入れ体制のさらなる充実

3. 在宅見守りシステム構築等

4. 業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮、年次有給休暇取得を推進

5. ワークライフバランス(多様な勤務形態)の更なる推進

6. 人事制度の刷新(考課者のマネジメント教育徹底)を図る

7. グローバルナースの教育・育成

8. 海外研修の充実

●**介護分野**

「いつまでも安心して在宅で暮らせるよう、地域包括ケアシステムの全国モデルを目指します。」

1. 地域に選ばれる病院づくり

2. 在宅見守りシステム構築等

3. 業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮、年次有給休暇取得を推進

4. ワークライフバランス(多様な勤務形態)の更なる推進

5. 人事制度の刷新(考課者のマネジメント教育徹底)を図る

6. グローバルナースの教育・育成

7. 海外研修の充実

8. 地域包括ケアシステムの構築

- ・回転率10%以上、在宅復帰率50%以上を維持
  - ・ショートステイの充実
  - ・病院と連携した、リハビリ機能の充実
  - ②医療とのシームレスな連携推進
  - ・地域（在宅）病棟実現に向けて、他業種との共同研究
  - ・在宅見守りシステムを構築
  - ③各事業を機能的に連携
  - ・認知症デイサービスの稼働率70%を目指す
  - ・認知症デイサービス・小規模多機能・居宅系施設老人保健施設の有機的連携
  - ・機能型居宅介護開設に向けて取り組む
  - ・ゆうあいビレッジ・イーストに小規模多機能型居宅介護開設に向けた取り組み
  - ・24時間型定期巡回・随時対応型サービス提供に向けて取り組む。夜間オペレーター配置。
  - ④人材採用・育成のための専属部門開設
  - ・介護スタッフの能力向上に向けて、  
「認知症ケア」の教育研修の強化
  - ・コミュニケーション能力の向上・笑顔と挨拶の徹底
  - ・外国人介護スタッフの教育・育成強化
  - 乙、スタッフに選ばれる職場づくり
  - ①ワークライフバランス（多様な勤務形態）の更なる推進
  - ②子育て支援・介護支援の充実
  - ③業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮、年次有給休暇取得を推進
  - ④人事制度の刷新
  - ⑤セイフティーマネジメント（転倒転落防止、院内感染防止）の更なる向上
  - ⑥「ゆうあい社会福祉事業団」の事業独立をさらに推進



## 介護保険制度の動向

ゆうあいビルツジ 施設長

千々岩 親幸

介護保険制度の動向  
ゆうあいビルッジ 施設長  
千々岩 親幸

昨年より行われてきた、平成27年度  
介護報酬改定についての審議が年末に  
終了し、1月9日に審議報告がなされ  
ました。介護保険制度は創設から15年  
介護者の増大が見込まれる2025年  
を迎えますが、団塊の世代が全て75歳  
以上となり、医療ニーズを併せ持つ要  
介護者と、医療ニーズを併せ持つ要  
介護者との対応の更なる強化  
に向けて、医療・介護・予防・住まい・生  
活支援が包括的に確保される「地域包  
括ケアシステム」を構築していくことが  
喫緊の課題となつており、これから約  
10年が制度としての完成度が問われる  
正念場となります。審議報告は来るべ  
き2025年を見据えた3つの基本計  
画から構成されています。以下その基  
本内容を検討してみます。

基本計画の3項目は次のとおりです。

①中重度の要介護者や認知症高齢者へ  
の対応の更なる強化

②介護人材確保対策の推進

③サービス評価の適正化と効率的なサ  
ービス提供体制の構築

①はサービス利用対象者のしびりこ  
みの強化と同様の意味合いと考えられ  
ます。介護保険制度は要介護者が5段  
階を支援者が2段階に分けられ全部  
で7段階の対象者に保険給付を行って  
きましたが、今回の改訂より要支援者  
は介護保険制度からは外れる方向性が  
決まり、その主なサービスは市町村の  
事業へと移されます。また、特別養護老  
人ホームの人所者が要介護3以上に限

定されたことからわかるように、介護保険は今後基本的には要介護3以上を対象とする方向性が明確となつたようです。介護保険で言う中重度の介護者は要介護3、4、5の方のことです。今後は要介護1、2の方ですら受けるサービスが限定されてくる可能性が大きいと思われます。もうひとつサービス利用対象者は認知症の方です。こちらは平成25年より認知症施設推進5カ年計画が進行中です。

②については介護保険制度を超えて社会全体で対応しなければならない問題です、今回の改訂では介護職員への待遇改善加算が決定しています。

③今回の改訂では9年ぶりに報酬引き下げが行われ全体でマイナス27%、職員への待遇改善加算の分を算出すると実質マイナス4~5%になりますのではないかと予測されています。サービスの適正化、効率化の方針の下、今後もマイナス改定となる可能性も十分考えられます。

祐愛会の介護サービスには入所・居施設として老人保健施設、グループホーム、特定施設がありますが、どの施設も平均介護度は3~5くらいであります。中重度者への対応はすでに万全の体制が構築されています。在宅サービスはデイサービスを全て認知症対応型の幅広い対応が可能な小規模多機能型施設を、さまざまなかるべく介護レベルの方にご利用していただけるようにしております。また、通所、宿泊、訪問などの人材確保に関しては、介護スタッフ

の教育の充実などにより、魅力的で成長を実感できる職場になるよう努力しております。インドネシア人の介護スタッフの採用、教育も積極的に行っているところです。

祐愛会は以前から、来るべき高齢化社会を地域で支える医療・介護連携システムを目指して進んできました。この方向性は、介護保険制度の基本方針と同じであり、報酬改定などに左右されにくい組織作りができています。

他の地域からモチルとされるよう、「地域包括システム」の構築を目指して、今後も皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

## 『ようこクリニツク』の現況

ようこクリニツク院長

續田注

小さい里道を抜んで、病院玄関の前

「ツウ」は、「すべては患者様のためこ

の精神でスタートし1年が経ちまし

た。(但し、織田病院内の皮膚科は昭和

62年に開設していますので25年が経

二三九

のまゝ、陽光婆を中心として賣水のある小宿

です。四季折々の草花が、患者様を樂し

ませてくれます。そして、水のせせらぎ

とオルゴールの音色が病んだ心と、懐

じぐ撃ぐアタマ、達を優しく包んでく  
れミー。云々争ひ、二競ばみ、ハ匪之逃

人、団らんする人、山地はきをうこどる人、

たた寝する人など、喫茶店の一風景の

のうめく化さしる庭園のこころの成り立ちは、言つても開院以来、月に2,000名もの患者様が受診され、付き添いの方を含めると3,000名もの方が訪れる中、25シートの待合のベンチが溢れることはありません。それは、ネットを活用した予約受付が導入されたことと、クリニック内、病院内の待ち時間表示が徹底できしたこと、全面的に電子カルテ化されたこと、またスタッフの動線が短くなつたことなどにより、会計待ち時間が5分以内と大幅に短縮されたことによるものと思われます。

小さなクリニックですが、診察室は、処置室（小手術室、全身型光線療法室）を含め5部屋ありプライバシーが確保されています。また何といっても、開放型病院である織田病院の常勤皮膚科医と共に「2人主治医制」で、県内に数少ない入院病床を持つ皮膚科として、入院加療が必要な様々な皮膚疾患に対する対応ができる、いわば重装備クリニックが特徴です。さらに、形成外科とタイアップして、年間190症例もの手術が必要な患者様にも対応しています。

これからも地域に根差し、患者様にとって優しい皮膚科を目指して、可愛い、愛嬌のあるスタッフ達と共に前進していきたいと思います。今年もよろしくお願ひいたします。

## ゆうあい研究発表会・忘年会

昨年12月20日「第19回ゆうあい研究発表会」が嬉野温泉「大正屋」で開催されました。今年は、病院より16題の中から2題とゆうあいビレッジより13題の中から2題を厳選しました。



- ・スムーズなお試し利用の対応を目標として(機能訓練室)
  - ・Le t.s クッキング
  - 織田病院
  - （小規模多機能ホームゆうあい）
  - ・術後合併症を予防！  
(リハビリテーション科)
  - ・採血困難解消への取り組み  
(外来看護部)
  - の計4題の発表になりました。

医事課 松枝 幸輝



閉じました。今年を締めるにふさわしい、楽しい会になりました。来年も頑張っていきましょう。

ゆうあい文化祭

実行委員長 山口 仁



29 今年も、「ゆうあい文化祭」を10月29日ケアコートゆうあいリハビリホールにて開催いたしました。10月21日～29日の期間、ゆうあい利用者様が日頃から趣味や、機能訓練の一つとして取り組まれている活動の作品発表の場を設けました。一つ一つの作品を丁寧に、根気強く作られている力を多く数出展していただき、中にはプロの職人が作つたような作品や、商品として出店しててもいいような作品もありました。当日に行われた表彰式では、各事業所の代表者の方にご登壇頂き、団体作品には表彰状、個人作品には感謝状を授与させていただきました。代表者の方からは、ユーモア溢れるコメントが飛び出し、会場は大いに賑わいました。

表彰式の後は、ゆうあい開設以来、イベント事には毎年ご参加頂いている「浅浦ゆうゆう会」様による祝賀の舞や、ゆうあい一座による日本昔話の「笠地蔵」劇を面白おかしく演じてもらい、会場はいつそう盛り上がりました。会場周辺ではヨーヨー釣りやボーリングなどのゲームコーナー、綿菓子やポップコーンのコーナーもあり、楽しい秋のひと時を過ごされていました。今後もゆうあいスタッフ一同は、利用者様が楽しく、生きがいとなる活動の場の提供やサポートを行っていきた



## 防災訓練

ケアコートゆうあい 防災委員長 北川 英俊

2015年（平成27年）2月2日 月曜日 第67号



平成26年11月30日にケアコートゆうあいで、避難誘導訓練を行いました。今回は平日の昼間の火災により想定して実施しました。たびたび、高齢者施設や病院の火災により尊い命が失われるニュースが聞かれます。私たちも多くの命をお預かりしているので他人事ではなく、もしもの時に備えて防災意識を高めるために、各事業所では年2回の避難誘導訓練を行っています。

ケアコートゆうあいの80名の入所者様と通所リハビリの利用者様40名を、職員だけで短時間に避難させることは困難であり、地域の皆様の協力が不可欠となります。

訓練終了後に鹿島消防署及び鹿島市消防団の方から「まずは火災を発生させないこと。もし発生した時は煙から身を守りながら初期消火を速やかに行うこと。また、避難した先で傷病者のトリアージを行い、迅速に次の処置に繋げる事。」とのアドバイスをいただきました。



今回の経験を活かして訓練を行って、全職員の防災意識の向上を図ることと、いざという時に、近隣の地域住民の方の協力が得られるように、日頃からの良好な関係構築に取り組んでいきたいと思います。



## 地域清掃活動

ボランティア・懇親会議 石井 大輔

平成26年11月30日に地域清掃活動を行いました。「いつもお世話をなっている地域に何かできないだろうか?」との思いで始めた活動も今週辺を朝8時より1時間ほどかけて、職員総勢100名で道路沿いのゴミや落ち葉、溝掃除を中心に行いました。職員からも「きれいになつて良かった」などの声や笑顔を見ることができました。

今後も少しでも地域への貢献ができるよう、職員皆で一緒に取り組んでいきたいと思います。

# 新成人

- ①成人を迎えた感想は?
- ②成人してやってみたいことは?
- ③自己PR

## 中島 沙希さん

①とても嬉しく思います。今まで以上に責任感を持ち、大人としての自覚を持ち、仕事を頑張りたいです。今までかかわってくださった周りの方にも感謝しています。②いろんな事に積極的に挑戦したいです。③これから大人としての自覚を持ち、周りの方に感謝し、仕事を一生懸命頑張るつもりです。よろしくお願ひします。



## 谷村 智洋さん

①まだ、ピンときませんが、大人の仲間入りをしたのだから、これから何をするにも責任を持った行動をとっていきたいと思います。②父と酒を飲みたいです。③自分の仕事に誇りを持って、どんな仕事でも頑張れるだけ頑張っていきます。



## 中山 梨奈さん

①無事に成人を迎えることができ嬉しく思います。これからは大人として責任ある行動をとります。また今まで支えてもらった周りの方々に感謝しながらこれからもがんばります。②自分で稼いだお金でいろんな所に行き楽しく過ごしたいです。③これからもいろんなことに挑戦し頑張ります。これからもよろしくお願ひします。



## 永吉 真美さん

①大人になって出来ることも増え嬉しいです。でも自分の行動に責任を持たないといけないので大人の判断ができる様になりたいです。②友達と呑みにいきたいです。③できることの幅も広がったので新たなことに挑戦していくたいです。頑張ります。



## 稻富 史帆さん

①成人を迎えることができ嬉しいです。今後、今以上に責任感を持ち、様々な経験をしてたくさんのことを学んでいきたいです。②海外旅行に行ってみたいです。③未熟者でご迷惑をかけると思いますが、頑張っていきたいと思うのでよろしくお願ひします。



## 大島 綾菜さん

①無事に成人式を迎えることができ、不安なこともありますが喜びも多くあります。国家試験までの残りの1年でもありめげずに頑張りたいです。②いろんなところに泊りがけでツーリングにいきたいです。③多くの方に感謝の気持ちを忘れず責任感を持ってこれからも頑張っていきたいと思います。



## 増富 茜さん

①成人となり嬉しい気持ちの反面、责任感を感じ不安も大きいです。まだ実感はないですが、これからは大人としての自覚と考えをもって、皆様への感謝の気持ちを忘れず笑顔で頑張っていきたいと思います。②友だちや家族と飲みにいきたいです。③人との繋がりを大切にしていきたいと思っています。まだまだ未熟者で迷惑をかけることも多々あると思いますが、精一杯頑張りますのでこれからもよろしくお願ひします！



平成二十六年十月より勤務しております、耳鼻咽喉科の脇園貴裕です。長崎大学を卒業し、初期臨床研修の後に九州大学耳鼻咽喉・頭頸部外科に入局しました。鹿島は初めてですが、母方の実家に所縁があるようで、御縁を感じております。耳鼻咽喉科では耳、鼻、のど及び頸部の疾患、めまいといった平衡機能疾患などを診させていただいております。日々精進しながら、少しずつでも皆様のお役に立てるよう努めています。どうぞ宜しくお願い致します。



**新任Dr紹介**



## 耳鼻咽喉科 脇園 貴裕

【出身医局】  
九州大学耳鼻咽喉科  
【専門領域】  
耳鼻咽喉科一般



## ようこそ祐愛会へ

12月16日、インドネシア看護師候補者7期生ピピットさん、マイさん、介護福祉士候補者7期生ロシダさん、ミンドさんが祐愛会に着任しました。

彼女たち4名はインドネシアで6ヶ月、愛知県豊田市で6ヶ月日本語を勉強しました。まだ日本語が充分ではありません。日本語や日本の習慣を覚えるのに時間はかかりますがよろしくご指導お願いします。皆様に4人をインタビューでご紹介します。

### Q1. 織田病院の印象はいかがですか？

(ピピット)良い病院。皆やさしいです。  
(マイムナー)良い病院です。皆様良く教えて下さい。



### Q1. ゆうあいビレッジの印象はいかがですか？

(ミンド)ピックリした。皆さん温かく迎えてくれた。  
とても嬉しかったです。  
(ロシダ)いい病院・施設だと思います。ホテルみたいにとてもキレイです。職員さんが利用者様にとても優しい。自分の家族みたいと思いました。利用者様も楽しい生活を送っているようにみえます。



### Q2. 好きな日本食はありますか？

(ピピット)そばが好き。お好み焼き(豚肉抜き)  
(マイムナー)まだ分かりません。  
(ミンド)ラーメン (ロシダ)天ぷら、あげもの、牛乳



### Q3. 趣味は何ですか？

(ピピット)山登りが好きです。スポーツ。  
特にバレーボール、バトミントン  
(マイムナー)マンガを読みます。  
(ミンド)音楽鑑賞とテレビを見ること  
(ロシダ)歌をうたうこと。…でも皆さんの前では自身がありません(笑)シャワーを浴びる時うたいます。



### Q4. 日本でやってみたいこと、行ってみたいところは？

(ピピット)富士山。 (マイムナー)沖縄に行きたい。  
(ミンド)介護福祉士の国家試験に合格すること。  
北海道に行って、スキーをやってみたい  
(ロシダ)沖縄に行きたいです。  
北海道にも…でも寒いのは嫌いです



### Q5. 好きな日本のタレントはいますか？

(ピピット)わからない。 (マイムナー)ありません。  
(ミンド)(ロシダ)アンジェラアキ

### Q6. 日本語で好きな言葉はありますか？

(ピピット)「スマセン」  
(マイムナー)「ガンバリマス」「ガンバッテ」  
(ミンド)「すみません」、「失礼します」  
(ロシダ)「なるほど」、「なにこれ」

# ハワイ研修を終えて

3階病棟

江口 美幸  
吉村あゆみ

私達は平成26年10月28日～11月2日までの6日間、ハワイ研修に参加しました。ハワイに到着後、一緒に参加した全国の病院や施設で働く方々と親睦会が行われ、本場のフラダンスショーやウクレレの演奏をバックにおいしいハワイの食事を満喫しました。実際にステージに立ち、一緒にフラダンスをするなど、初日から楽しむことができました。

二日目は、日本人慈善協会によって創設されたクアキニ病院で、アメリカの急性期医療を見学しました。クアキニメディカルセンターの心臓外科ICUでは、ベッドサイドモニターが壁に備え付けてあり、急変時迅速に対応できるようになっていました。

今回ハワイ研修に参加して日本では味わえない、すばらしい経験をすることが出来ました。また、機会があれば行ってみたい研修でした。



また、各病室ナースがいる時は入り口に在室を知らせるランプが点灯するため、ドクターは直接指示が出

せスムーズに実施できるようになっていました。



## 【陸上部】 美味暮まんじゅうクラブ活動



昨年11月15日に武雄市にて第14回全日本美味暮まんじゅう選手権大会が開催され、今回初めて織田病院チームで参加しました。メンバーは宮崎課長、原MSW、中村CM、福地PT、と私、田中の5名です。制限体重370kg以内の重量級にエントリー

しました。大会前に練習した時は絶対に優勝できると確信していましたが、結果は予選落ち。重量級のパワーだけでなく、要領のよさも重要だとわかりました。

大会では、出場チームの仮装に関する審査もあり、われわれは戦隊物の衣装で挑戦。なんと仮装部門で3位とな

平成26年12月14日(日)に陸上部で吉野ヶ里リレーマラソンに参加してきました。吉野ヶ里歴史公園でのりレーマラソン参加は今回で2回目です。織田病院から2チームとゆうあいビレッジから1チームの合計3チームの参加でした。参加メンバーは医師、薬剤師、リハビリスタッフ、相談員、管理栄養士、栄養科スタッフ、ケアマネージャー等々…たくさん



kmを皆でタスキを継ぎ、「一走りました。今や陸上部は、楽しく走りたい方、運動不足の方、たくさんの仲間を作りたい方、いつでも参加募集しております。お気軽に声をかけてください!

連携センター 神代 修



リハビリティーション科

田中 真悟



# 部活動報告

病院と施設の垣根を越えた、オール祐愛会多職種スタッフからなる、「祐愛会 陸上部」として活動をしています。

楽しい走りたい方、運動不足の方、たくさんの仲間を作りたい方、いつでも参加募集しております。お気軽に声をかけてください!

連携センター 神代 修

# 学会(研究会)・講演(講義)・論文発表(平成26年)

## 【学会(研究会)発表】

### ○医学関係

- 佐賀ペクティビックス Cure-Meeting 3月18日 ホテルニューオータニ佐賀 佐藤建 大高和真 江戸川 伊山明宏 「直腸癌による転移性肝癌に對してペクティビックス+FOLFIが奏効していた一例」
- 第7回佐賀県臨床皮膚科医会 4月12日 ホテルニューオータニ佐賀 織田洋子 「当院在宅医療への取り組み」
- 第34回 日本静脈学会総会 in 沖縄 4月18日 万国津梁館 織田良正 里学 内藤光三 桜木等 「標準的内シャント造設術における手術戦略、工夫」
- SGIM 37th Annual Meeting(米国総合診療医学会) 4月23日~4月26日 San Diego California Masaki Tago Naoko Furukawa Shu-ichi Yamashita 「Excessive perspiration is a predictive factor for aggravation of rhabdomyolysis.」
- 第33回総合診療ケースカンファレンス 5月21日 ホテルマリターレ創世 徳島圭宣 「前胸部違和感を呈した低Ca血症の1例」
- 第305回 日本内科学会 九州地方会 5月31日 くまもと森都心プラザホール 相原秀俊 坂田泰志 徳島圭宣 大串昭彦 松永圭司 西山雅則 米満伸久 出勝 京楽格 山下秀一 「自然消失した十二指腸憩室性リンパ腫の1例」
- 第78回九州真菌懇親会 6月29日 くまもと森都心プラザ 森槻子 織田洋子 中原快明 「Phaeohyphomycosisの1例」
- 第64回日本病院学会シンポジウム 7月3日 香川県高松市サンポートホール 織田正道 「人材が集まる魅力ある医療・介護分野にするための中小病院のあり方」
- 第27回日本疼痛漢方研究会学術集会 7月5日 東京コンファレンスセンター・品川 中平圭 「高齢者の30年来の頭痛に対し三黄瀉心湯が奏効した1症例」
- 第416回嬉野漢方のつどい 8月7日 ハミルトン宇礼志野 中平圭 「漢方症例検討 頭痛に対する漢方治療」
- 第8回佐賀県臨床皮膚科学会 8月9日 ホテルニューオータニ佐賀 森槻子 織田洋子 「Intradermal Spitznevusの1例」
- 第37回 佐賀救急医学会 in 佐賀 9月6日 佐賀市文化会館 織田良正 谷口賢一郎 乗田浩明 「地域救急医療における急性心不全医療」
- 第9回 日本病院総合診療医学会総会 9月19日 高崎シティギャラリー 相原秀俊 多胡雅毅 徳島圭宣 渕上敏文 西山雅則 古川尚子 山下秀一 「地域中核病院における病院総合医の入院・外来での役割」
- 第39回 大腸肛門病学会九州支部例会 9月20日 マリトピア 佐藤建 伊藤孝太朗 大高和真 伊山明宏 「直腸癌による転移性肝癌(H3)に対して化学療法(一次、二次治療)が奏効した一例」
- 第24回日本耳科学会総会・学術講演会 10月15日~18日 朱鶯メッセ 大橋充 松本希 小宗静男 「中耳真珠腫の発症ならびに再発性再発における上鼓室前骨板(Anterior attic bony plate)の形態的意義」
- 第24回日本耳科学会総会・学術講演会 10月15日~18日 朱鶯メッセ 脇園貴裕 久保和彦 高岩一貴 松本希 野田哲平 小宗静男 「当科におけるアブミ骨手術StapedectomyとStapedotomyの検討」
- 第34回総合診療ケースカンファレンス 11月19日 ホテルマリターレ創世 多胡雅毅 「抗血小板内服中に消化管出血で発症したBarrett食道がんの1例」
- 第76回日本臨床外科学会総会 11月22日 ビックパレットふくしま 佐藤建 伊藤孝太朗 大高和真 伊山明宏 「漢方薬長期服用が原因と考えられた静脈硬化性大腸炎に対し緊急手術を施行した一例」
- 第307回日本内科学会 九州地方会 11月23日 ピーコンプラザ 徳島圭宣 坂田泰志 竹下枝里 相原秀俊 多胡雅毅 松永圭司 西山雅則 坂田裕之 京楽格 山下秀一 「腸管囊腫様気腫症の1例」
- 西部消化器研究会 11月27日 武雄市医師会 佐藤建 伊藤孝太朗 大高和真 伊山明宏 「漢方薬長期服用が原因と考えられた静脈硬化性大腸炎に対し緊急手術を施行した一例」

- 第9回佐賀県臨床皮膚科医会 12月6日 ホテルニューオータニ佐賀 織田洋子 「当院におけるデクビタスチームの活動」

### ○看護・介護・福祉etc

- 第54回全日病学会in福岡 ヒルトン福岡シーホーク 9月21日 原和行、田中安紀子、神代修 「当院の退院支援システム運用と在宅復帰」
- 第64回日本病院学会 サンポートホール高松 7月3日 宮崎公志、森川伸一 「電子カルテのクラウド化がもたらす効果～仮想化サーバーを導入して～」
- 日本医療マネジメント学会第12回佐賀支部学術集会 友朋会嬉野温泉病院 2月22日 田中寛子、辻田幸子 「織田病院における退院支援の現状と課題～鹿島市在住患者の退院状況の分析より～」
- 第37回佐賀救急医学会 佐賀市アバンセ 9月6日 経塚哲也、江口富士子 「当院の院内トリアージの現状調査～院内トリアージの結果より～」
- 第56回全日本病院学会 ヒルトン福岡シーホーク 9月20日 田中寛子、久本由香、辻田幸子 「人口3万人の鹿島市にある急性期内因病棟における退院支援の課題」
- 第56回全日本病院学会 ヒルトン福岡シーホーク 9月21日 井上知世、中村京子、川島裕子、江口富士子 「糖尿病患者の年代別・HbA1cコントロール別フットケア行動と意識の傾向」
- 第88回日本消化器内視鏡技師学会 大阪国際交流センター 10月25日 山本衣里子、永田和子、坂田泰志 「上部消化管内市況検査で使用する咽頭麻酔剤の検討～性別・嗜好・食感・年齢による分析～」
- 平成26年度佐賀県介護老人保健施設大会 佐賀文化会館 11月6日 岡本ゆかり、市丸徳美、西村美枝子 「看取りに対する介護職員の意識の実態～取り組み経過と介護職員の意識調査より～」
- 佐賀県理学療法士主催杵藤広域部症例検討会 白石共立病院 7月26日 片渕晋哉 「地域密着型特定施設における入居者との関わり」
- 第2回 神経理学療法研修会 白石共立病院 7月18日 馬場智大 「右小脳梗塞を発症後、運動ループと認知ループの障害を呈した症例に対する介入方法の検討～寝返り・起き上がり動作を通して～」

## 【講演】

### ○医学関係

- 鹿児島県医師会第3回在宅医療推進研修会 3月11日 鹿児島県医師会4階ホール 織田正道 「かかりつけ医の後方支援と多職種連携」
- 第17回光生病院「急救の日の集い」9月9日 社会医療法人光生病院西館階大会議室 織田正道 「長高齢社会における救急医療とその体制について」
- 第130回「医療経営研究会」 10月22日 ホテルガロ福岡 織田正道 「人材紹介会社の活用の実態」
- 佐賀県西部地区学術講演会 11月13日 清川坂田泰志 「NSAIDs、低アスピリンによる潰瘍」

### ○看護・介護・福祉etc

- 介護福祉士研修会 2月12日 市丸徳美 「認知症ケアに大切なこと～認知症看護C Nとして伝えたいこと～」
- 鹿島・太良・塩田地区グループホーム交流会 2月27日 市丸徳美 「認知症ケアの最新の話題について」
- 認知症サポートー養成講座：飯田地区 5月9日 石井大輔・光武耕治 「認知症を理解し地域で支えよう!!」
- 平成26年度介護労働講習 6月27日 石井大輔 「居住環境の整備と福祉用具の活用：居住環境の意義・生活空間と介護」
- 平成26年度介護労働講習 7月4日 石井大輔 「居住環境の整備と福祉用具の活用：福祉用具の活用」
- リハビリテーション介護研修会 河畔病院 7月27日 一ノ瀬英治 「福祉用具の選び方」
- 第5回佐賀県病院薬剤師会感染症研修会 10月25日 緒方良彦 「セフェム系抗菌薬の使い方」
- 認知症サポートー養成講座：西三河内地区住民の方 11月4日 石井大輔 「認知症を理解し地域で支えよう!!」
- 佐賀県病院薬剤師会学術研修会 11月8日 緒方良彦 「当院の病棟薬剤師業務について」
- 認知症サポートー養成講座：浅浦婦人会 11月10日 石井大輔 光武耕治 「認知症を理解し地域で支えよう!!」

## 【講義】

### ○医学関係

- 鹿島藤津地区医師会率看護高等専修学校 3月12日・13日 織田洋子 「人体のしくみ働き、疾病の成り立ち(感覺系・皮膚科)」
- 佐賀大学医学部医学科3年生 4月17日 西山雅則 「地域高齢者医療－介護と在宅医療」
- 佐賀県立総合看護学院 6月19日 西山雅則 「地域医療と高齢者保健指導」
- 佐賀県医療センター好生館集中治療室講義 7月7日 織田良正 「オートセットCSの有用性について」
- 平成26年度地域枠入学生特別プログラム「地域医療セミナー」 10月1日 織田正道 「鹿島地区における地域医療の取り組みについて」
- 武田薬品社外講師勉強会 12月11日 武田薬品 佐賀営業所 多胡雅毅 「横紋筋融解症について」

### ○看護・介護・福祉etc

- 佐賀大学医学部看護学科講義 1月10日 市丸徳美 「介護老人保健施設における看護」
- 佐賀県看護協会新人看護職員多施設合同研修会 5月26日 市丸徳美 「フォローアップ研修1 認知症看護の実際」
- 鹿島藤津地区医師会看護高等専修学校講義 6月25・7月2・9・16・23・30・9月3日 本村幹親 「リハビリテーション総論」
- 嬉野医療センター附属看護学校講義 9月18・25日、11月2・9日 市丸徳美 「老年看護学方法論II：高齢者を取り巻く保健医療施設、高齢者の理解、認知症高齢者の看護」
- 佐賀大学医院看護学専攻講義 10月21日 市丸徳美 「老年看護特論：バーソン・センタード・ケア」
- 佐賀県看護協会研修会 11月26日 市丸徳美 「認知症患者の看護」
- 佐賀県委託事業研修会 11月29日 市丸徳美、「病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修」

## 【論文】

### ○医学関係

- 織田正道 月刊 病院 73巻 26年2月1日発行 医学書院 「2025年にもとめられる病院経営 急性期の中小病院の立場から」
- 織田正道 医会佐賀 26年2月号 <表紙写真> 「空雲海富士憧憬」
- 坂田泰志、山本衣里子、松尾由美、中元寺美咲、江戸川 「大腸憩室出血に対してクリップ法後に結紮法(EBL)を行ない止血した1例」 内科、114(4) 722-725、2014
- Yoshinori Tokunaga Yuta Sakanishi Kou Nagae Midori Tokushima Masaki Tago Motosuke Tomonaga Tsuneaki Yoshioka Masaki Hyakutake Takashi Sugioka Shi-ichi Yamashita 「Thyroid Storm Complicated by Bicytopenia and Disseminated Intravascular Coagulation」 Am J Case Rep 2014;15:312-316
- 多胡雅毅 古川尚子 朝長元輔 百武正樹 杉岡隆 山下秀一 「悪性症候群、横紋筋融解症 診断と治療」 2014; 102 Suppl : 153-157

### ○看護・介護・福祉etc

- 江口富士子 「外来リエゾンナースによる継続看護の推進」 日総研外来看護2014年夏号最新外来業務事例先進事例を全国からP128~P135
- 久本由香 田中寛子 加藤喜子 辻田幸子 「リエゾンナースの病棟配置による退院支援推進に向けて」 日総研地域連携入院支援2014年11・12月号P58~P63
- 市丸徳美 「アルツハイマー型認知症に多い徘徊や暴言・暴力、介護拒否への対応、～バーソン・セントードなかかわりを考える～モーティグ」 日総研、2-9、2014.

# ふるさと探訪

『芦刈町』



ジが栽培されています。ハウスを建て、イチゴやアスパラをつくられているところもあります。こののどかな田園風景が一変するのが11月上旬です。佐賀県の冬の風物詩「佐賀インターナショナル・バルーンフェスティバル」会場の嘉瀬川河川敷から飛び立つバルーンが自宅から一望できます。風向によっては手の届きそうな高さを飛び、家の裏方にバルーンが降りてくることもあります。町中がバルーン一色に染まります。休日、朝寝坊をした日にバルーンのバーナーの音で目覚めますこともあります。これも、刈り入れ後の田んぼが広がる芦刈ならではの風景です。

南に目を向ければ、有明海の干潟が出迎えてくれます。干潟のアイドルといえばムツゴロウ。芦刈町はムツゴロウの保護区があり、

佐賀ムツゴロウ王国芦刈  
芦刈海岸マップ

芦刈海岸の不思議な生物たち

Aリョウロウ  
千両の人氣者  
アリョウロウは世界最大級のサメで、日本海では一歳で平均体長の1.5倍の大きさで成長し、10m~20m。日本では古来より「とくに長い」として崇められており、御守りや、お守りとして奉る習俗がある。また、古来から「千両」として金の代用として使われていて、その名前から「千両人氣者」と呼ばれる。

シオザメ  
オスは左のハサミの大きさが違うんだよ  
シオザメは半端な名前で、スズキの「さゆき」と同じ意味で鰓の間に細かい棘(ささくれ)があることから名づけられた。日本では古来から「千両」として金の代用として使われていて、オスは左右のハサミの大きさが違うことで、この名前が付いている。オスは日本海の内湾で多く見られる。この魚は、頭部の棘が鋭利で、他の魚を捕食しているときに威力を発揮するところからシオザメと呼ばれている。

トビハゼ  
ムツゴロウとよく似てるって言われるよ  
トビハゼは、ムツゴロウとよく似た外見をしていて、ムツゴロウよりも大きくなる。体長は1m以上で、重さは10kg以上ある。ムツゴロウと同様に、頭部の棘が鋭利で、他の魚を捕食しているときに威力を発揮する。

看護の魅力は、患者さんが人生の大半を過ごしてきた在宅で「生き生きと」ために、家族と共に考え工夫したり、生活が少しでも豊かなものになるよう手助けしていくことになります。病棟看護とは違った苦労があるようですが、看護のおもしろさや、やりがいを知ることができました。

本書は、訪問看護Q & Aや基礎知識なども書かれており、若手看護師からベテラン看護師まで、訪問看護の魅力を知ることのできる一冊だと思います。

院内にご案内しています。さすが織田病院の「お・も・て・な・し」。そしてみなさんご存じでしょうか？今年から私の真正面にパラソルテープルが設置されています。そもそも真冬に誰か使う方があるのか疑問でしたが、いややは結構使われる方が多いんですね）。患者様はもちろん、お見舞いの方、散歩中のマダム、猫や小鳥、そしてこの前は、みなさんが見えているか分かりませんが織田病院の守り神まで休んでいるのをみました。

12月31日まで日中は慌ただしいですが、総務の下村さん、岸川さんがテキパキと駐車場整理、患者様の案内をしていました。岸川さんは総務

An illustration showing a family of six people (two adults, four children) standing in front of a modern hospital building with a red cross on top. The family is holding hands. In the foreground, there is a large traditional New Year's decoration (matsuri) made of green branches and red flowers. The scene is set outdoors with some trees and a clear sky.

人「5625人(平成22年)」  
の佐賀県有数の都市?です。  
芦刈町といえば、どこま

人□5625人(平成26年1月現在)

A row of colorful, stylized structures resembling stylized letters or architectural models.

A person is skydiving towards a body of water, with their legs spread wide and a large canopy visible.

別名、ムツゴロウ王国と名乗っています。ムツゴロウの観察に行ってみてはいかがでしようか？産卵期である5～6月には頻繁にジヤンプする姿が見られるでしょう。残念ながらいまの時期は気温も低く、巣穴に隠れていることが多いようです。その際には、ぜひ、ムツゴロウをモチーフにしたトイレに行ってみてください。「ムツゴロウトイレ」の周辺にはムツゴロウ公園や干潟体験場、オートキヤンピ場などもあり、有明海の干潟を中心多くの施設があります。夏にはムツゴロウ公園で夏祭りが行われ、盆踊りや出店、花火大会などで盛り上がります。

田んぼと有明海の干潟が広がる芦刈町。現在建設中の沿岸道路が完成すれば、鹿

島からまた少し近くなります。通り過ぎるだけでなく、ぜひ一度遊びに行ってみてください。

多くの看護師は病院のなかで働いており、訪問看護は一定の経験を積んでから、家庭を持つてから、と考えていている。しかし、若いうちに一度訪問看護を経験することで、看護の世界が広がり、病棟看護のレベルも

立っております。今回折角ですの  
で、織田病院の一日を私なりの視点  
から紹介したいと思います。

さて織田病院の一日は朝7時事務  
当直の方が、正面玄関の鍵を開ける  
ところから始まります。中には7時

かし救急車のサイレンがなると一気に門松は応援モードに入ります。へく動けないのでお手伝いできませ  
が、救急を守つてくれている先生、看護師さん、事務の方たちには感謝の気持つて不<sup>二</sup>。

●著者 宮崎和加子  
だから訪問看護はやめられない  
—訪問看護の魅力、  
せんぶ教えちゃいます —



## ブックエンド

編集後記

に移動したばかりのようで大変そこですが、門松後ろから静かに応援しています。「頑張れ！未来のDJ公務！」



(病院玄関前) 門松

12月31日まで日中は慌ただしいですが、総務の下村さん、岸川さんがテキパキと駐車場整理、患者様の案内をしていました。岸川さんは総務

An illustration of three children standing together. In the foreground, a girl with short dark hair, wearing a red top and pink pants, looks up at the others. Behind her, two boys are standing close together; the boy on the left wears a white shirt and the boy on the right wears a blue shirt.